

歯の絵本とあわせて読みたい

むし歯ニンジャ諸兄へのてびき



忍 虫 法 歯 帖 菌 流

絵本「おくちパトロール隊 vs むし歯ニンジャ」は、われわれむし歯ニンジャの潜伏先や忍術の見切り方について、理解を深めるべく編集されている。結果的にはパトロール隊に捕縛されてしまったが、この戦いでわれわれが用いた忍術について、あらためて指南しよう。

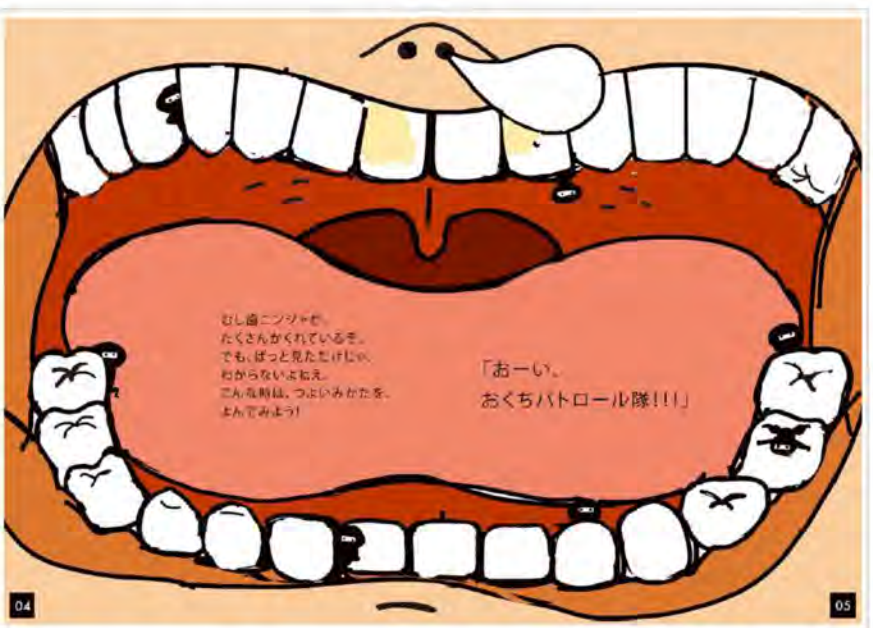
むし歯ニンジャは、口の中でうまく隠れることを得意とする。
見ただけではなかなかわからない。

われわれの同志は、潜伏中に、お決まりの「印(シグナル)」を結び、忍術を繰り出す。

その印を発見されないで、うまくやり過ごすことができれば、やがて大きなむし歯に！

つまり、相手方にとってはその印を事前に見破り、忍術にうまく対抗できるかどうか、
戦術上重要なポイントとなっている。

ではわれわれが繰り出す忍術をご紹介しよう。





われわれむし歯ニンジャは、歯のスキ間を好んで隠れ場所とする。

毎日ブラッシングしていても、歯と歯の間は、歯ブラシの毛先が届きにくいので、われわれむし歯ニンジャを完全に掻き出すことは難しい。

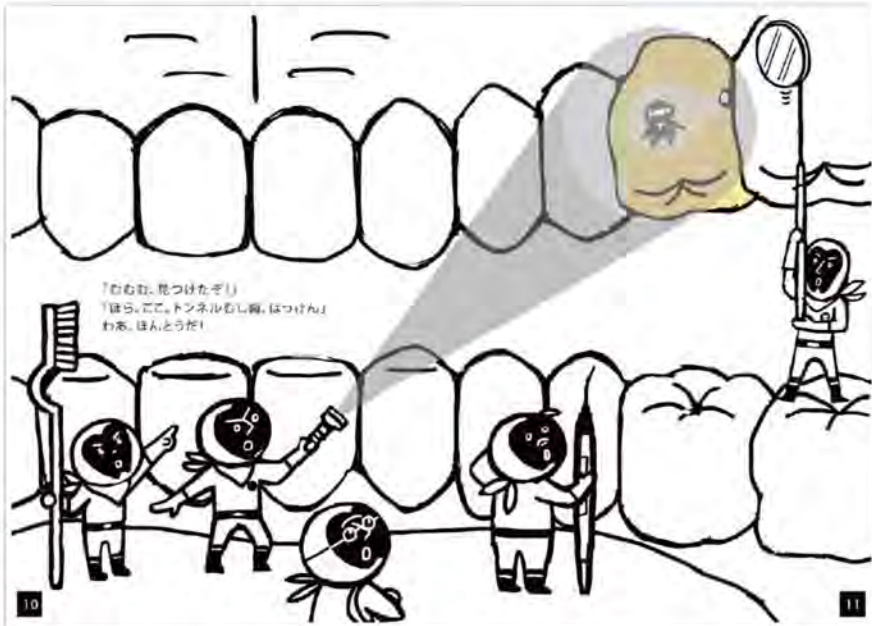
しかしデンタルフロスといった武器に対しては脆弱だ。

まあ初歩的かつ古典的な忍術といえよう。

ほとんど
歯遁の術

別名

「トンネルむし歯」



歯と歯のスキ間に隠れたわれわれを見つけられないと、われわれむし歯ニンジャはやっかいな忍術を繰り出すことができる。それが別名、トンネルむし歯だ。

その名の通り、歯にトンネル状の穴を掘りそこに潜伏する。歯と歯の間から歯の真ん中に向かって穴を掘り進める。その進行具合はまるでトンネルだ。

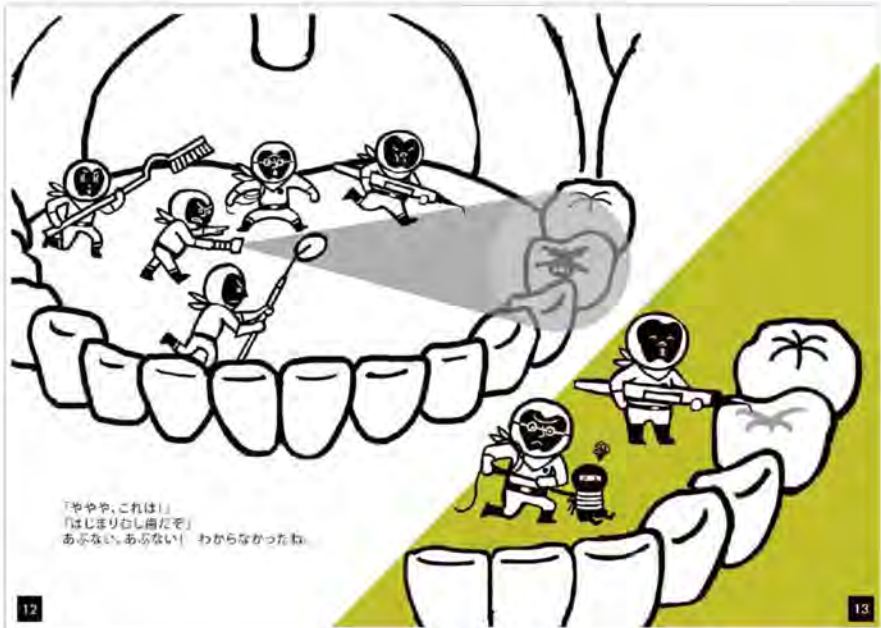
このトンネルの入り口は外からは発見されにくく、見過ごされる場合が多い。相手方にとっても時々しみる程度がある程度で、ほとんど症状がない。

硬いものを食べた時など、ある日突然、トンネルが崩落。むし歯出現!
なーんていう困らせ方ができるのだ。

こうした「トンネルむし歯」も歯医者さん等、専門家のレントゲンでは発見されてしまう可能性が高い。

はぐくれ
歯隠れの術

別名
「はじまりむし歯」



奥歯の溝……。ここは意外と見つけられにくい場所だ。

乳歯や生えたての永久歯といった子どもの奥歯は格好の潜伏場所。大人の永久歯も同様だ。

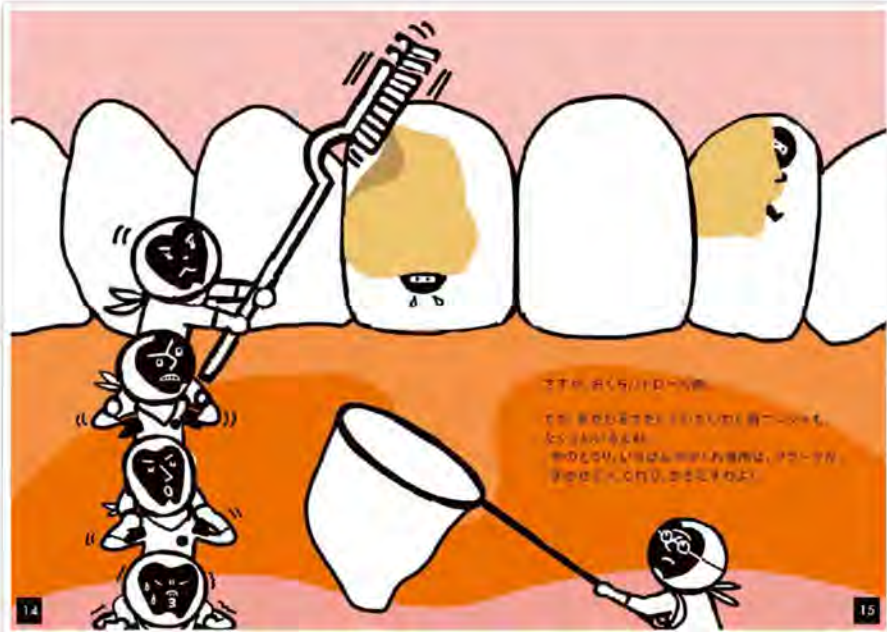
こんなわかりやすい場所が盲点なのは、奥歯の溝というのは、歯ブラシの毛先よりも細いため、歯ブラシが入りにくいからだ。

相手方は「奥歯の溝がやや黒いかな？」程度に思っている、実はその黒い正体は、われわれむし歯ニンジャ……。そんな可能性もあるのだ。

最近この忍術に対して有効な防御法が開発された。その名も「フィッシャーシーラント」。

奥歯の溝を樹脂でコーティングしてしまうことで、われわれに潜伏されないよう、あらかじめ対策をはかるといふもの。とくに溝が狭い子どもの奥歯に有効だ。

上の絵でもおわかりのとおり、パトロール隊の黄色の奴が手に持った器材。ここから歯の溝にフタをするシーラント材を注入しているのだ。こうなるとわれわれも入り込むことが難しい。



かくれみの 隠れ蓑の術

別名 「ホワイトスポット (白い斑点)」

歯の表面に浮かんだ「白い斑点」。この絵のとおり、プラークと呼ばれる歯の汚れが表面に付着したままになると、歯の表面が溶けはじめ、この白い斑点は大きくなっていく。

相手方は黒くない、穴もあいてない・・・などと油断するが、長期間の放っておくと、むし歯になるのだ！

絵本の中でも、まだ悪さこそしていないものの、プラークの向こうにむし歯ニンジャが潜んでいることがおわかりいただけよう。

そもそもこの白い斑点は、食事などで歯の表面が酸性に傾いた状態が長くつづくことで、歯の表面のエナメル質にあるカルシウム分が少なくことで現れる。

したがって、相手方にとっては、間食を控える、丁寧なブラッシングでプラークをしっかりと落とし、フッ素入りの歯磨きを使う、などなど、通常のむし歯予防と同様の対策が有効とされている。

以上が、われわれむし歯ニンジャ達の忍術だ。
最後に、相手方にとっての対策法をまとめてみよう。

むし歯ニンジャの攻略法まとめ

- 一、痛くなる前に、なるべく早くむし歯のシグナルを発見すべし。
- 一、見つかったシグナルは、むし歯の初期段階なので、
歯医者さんに相談すべし。

一、日頃のケアも大切！ 生活習慣とこまめなブラッシング。

